

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 日本エクスラン工業株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒530-0004 大阪市北区堂島浜二丁目2番8号	
本票作成	部署名：日本エクスラン工業株式会社 西大寺工場 工務部				
主たる業種	分類コード	11	業種名：繊維工業		
事業の概要	アクリル繊維生産量：38,000トン/年 従業員数：300名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	西大寺工場		岡山市東区金岡東町三丁目3番1号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 26 年度)			目標年度 (平成 31 年度)					
	110,619 t CO ₂			105,088 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 26 年度) の排出量					
	①	西大寺工場		110,619 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量 (当工場の主たる製品を生産するために要するエネルギーの原油換算量を基準として、製品ごとに換算したものの合計値)	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		3,468 t CO ₂ / (千t)	3,294 t CO ₂ / (千t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 26 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

近年は生産量が不安定であり、ここ数年の総排出量は下がり傾向にあるが、排出原単位は悪化している。その環境下で西大寺工場の省エネ推進目標を国の努力目標と同じ「エネルギー原単位年率1%削減」とし、継続して省エネルギー活動の取組を行っていくことで、排出原単位5%削減を目指す。

【目標削減率達成のための推進体制】

- ①省エネ対策委員会：工場長を委員長、各部長を委員とする工場全体会議（年2回）
 ②製造部の省エネプロジェクト会議：部長・課長・グループリーダー、工務部の担当課長を含む改善検討会議（隔月）
 ③コスト改善委員会：社長出席のコスト低減対策会議。原価低減策の一部として省エネ取組状況・実績確認（毎月）
 ④T P M活動：省エネを推奨し、効果により表彰・報奨金授与（年4回）
 ⑤ISO14001を通じた環境負荷低減の取組

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
西大寺工場	(1)2011年度 400RT高効率冷凍機導入 (削減効果：366tCO2) (2)2012年度 ターボ型空気圧縮機導入、インバーター照明へ更新 (削減効果：98tCO2) (3)2013年度 インバーター制御空気圧縮機導入 (削減効果：144tCO2) (4)2014年度 省エネ型空気脱湿機導入、製造工程熱交換器効率向上 (削減効果：292tCO2) (5)その他 送液ポンプ能力適正化、ドレン回収等 (削減効果：185tCO2)

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
西大寺工場	(1)2015年度 熱交換器更新による効率向上 (削減効果：430tCO2) 廃熱回収 (削減効果：435tCO2) ヒータードレン回収 (削減効果：130tCO2) (2)2016年度 変圧器更新 (削減効果：50tCO2) 照明のインバーター及びLED化 (削減効果：5tCO2) (3)2017年度 インバーター制御空気圧縮機導入 (削減効果：144tCO2) (4)2018年度 省エネ型空気脱湿機導入 (削減効果：80tCO2) (5)その他 送液ポンプ・ファンの能力適正化 ※削減効果は予想値 上記に加えて、継続して新規案件抽出・検討を行い、適時実施していく。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	有	2003年度より産業廃棄物焼却設備を設置し、発生蒸気を工場へ送気することで廃熱の有効利用を図っている。
その他	無	

【その他特記事項】

(1)空調用電力・蒸気節減のため、クールビズ・ウォームビズ運動推進 (2)社内環境展を（1回/年）実施、省エネと環境負荷低減を従業員にPR		
--	--	--